

第2学年3組 国語科 学習指導案

単元名：ふたりにとどけ ぼくらのおもい

教材文 お手紙

男子 13名 女子 13名 計 26名

指導者 本谷 綾子

単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説国語科第1学年及び第2学年、「C読むこと」の指導事項(1)「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」の内容を受けて設定したものである。

本単元では、小学校学習指導要領解説国語科第1学年及び第2学年、「B書くこと」の言語活動例(2)「オ 伝えたいことを簡単な手紙に書くこと。」と関連付け、場面の様子や登場人物の行動を中心に想像を広げて読んだことを基に、登場人物に手紙を書く言語活動を位置付ける。

教材文は、五つの場面から構成されている。一度も手紙をもらったことのないがまくんの悲しみに共感し、自分まで悲しくなるかえるくんが、親友であるがまくんを喜ばせようと手紙を書き、二人の友情が深まっていくというお話である。それぞれの場面の様子と登場人物の行動を中心に読むことで、事柄や場面の順序をとらえやすい教材である。作者の手による表情豊かな挿絵が効果的に配されており、挿絵をもとに場面の様子や変化をとらえたり、場面ごとの登場人物の行動や会話から、その様子を豊かに想像したりしながら読むことができると考える。

また、二人の会話を中心に物語が展開されているため、「がまくん」と「かえるくん」の行動や気持ちの変化を中心に想像を広げながら読むことで、ファンタジーの世界に浸り、物語を読む楽しさを味わうことができる作品である。

○ 児童観

本学級の児童は、これまでに、人物の行動に着目して物語を読んだり、物語がいくつかの場面からできていることを学んだりしている。第2学年の4月単元「こえに出して読もう」の学習では、登場人物の行動や会話文を中心に場面の様子や登場人物の気持ちを想像したことをもとに、グループで話し合い、読み方の工夫を考え音読発表会を行った。登場人物の気持ちを想像しながら物語を読むことを好む児童は多いが、場面の様子について根拠となる行動や会話に着目し、理由を考えながら想像して読むことはまだ十分とは言えない。想像したことを自分の言葉で表現することにも課題があると言える。また、何がどのような順序で書かれているのかとらえることにも課題があると言える。順序や大事な言葉に気を付けて読む学習単元の単元末テストでは、本文に出てきた順番に短い文を並びかえる問題で、42%の児童が不正解であった。

○ 指導観

指導に当たっては、まず、児童たち自身が手紙をもらったり書いたりした経験を出し合ったり、教師が読み聞かせを行ったりして、物語の内容に興味をもたせ、自分たちもがまくんやかえるくんに手紙を書いてみたいという意欲をもたせる。そして、単元末に、がまくんとかえるくんに手紙を書くというゴールを設定し、がまくんやかえるくんの気持ちを、想像を広げて楽しみながら読んでいくという学習のめあてをもたせたい。また、単元を通して、シリーズ本の並行読書を行い、物語の世界をより広げながら読み進められるようにしたい。

情報の収集・整理分析の段階では、はじめに挿絵をもとに五つの場面を確かめ、「時」「場所」「人物」と出来事の概要をとらえ、物語全体の流れをつかませたい。そして、場面ごとに会話文を中心

に音読し、挿絵と関連付けながら、ふたりの行動や会話に着目させ、場面の様子や人物の気持ちを想像させる。その際、想像したことを挿絵の吹き出しに書くようにさせ、場面ごとに、想像したことをグループで交流し、さらに広げたり深めたりできるようにしたい。毎時間の学習のまとめとして、各場面での二人への手紙を書く時間を設け、どのように読み取ったのかを見取るとともに、手紙を書くというゴールに向けた材料集めをしていきたい。そして、一人一人が読み取ったことを基に、自分の考えを持てるようにしていきたい。

学習のまとめとして、二人に手紙を書く活動では、これまでの学習で書いた一言手紙を活用する。一言手紙から、がまくんとかえるくんに伝えたい言葉をいくつか選び、自分の考えも付け加えて手紙を書かせる。

振り返りの段階では、書いた手紙を交流することで、友だちの書いた手紙の良さに気付けるようにするとともに、登場人物の行動や会話をもとに想像を広げて読むことの楽しさに気づき、自分の読書について振り返り、これからの読書活動に生かしていけるようにしたい。

単元の目標及び内容について

- 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして読もうとしている。
【関心・意欲・態度】
- 場面の様子について、登場人物の行動や会話を順序よくとらえ、登場人物の思いについて想像を広げながら読むことができる。
【読むこと ウ】
- 文の中における主語と述語の関係に注意することができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ (カ)】

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
【言語活動】 想像を広げて物語を読み、登場人物に手紙を書く。		
書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして読もうとしている。	登場人物の行動や様子を順序よくとらえ、登場人物の思いについて想像を広げながら読んでいる。	文の中における主語と述語の関係について理解している。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、登場人物の行動や場面の展開について想像を広げたりして読もうとしている。	・書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして読もうとしている。
【思考力】	・登場人物の行動や様子を順序よくとらえ、場面と場面を関連付けながら登場人物の思いについて想像を広げながら読んでいる。	・登場人物の行動や様子を順序よくとらえ、登場人物の思いについて想像を広げながら読んでいる。
【自己理解】	・登場人物の行動や会話をもとに、想像を広げて読む楽しさに気づき、これからの読書活動に生かそうとしている。	・登場人物の行動や会話をもとに、想像を広げて読む楽しさに気付いている。

指導と評価の計画

全 13 時間

次	時	学習内容	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定（２） ○お手紙をもらった経験について話し合う。 ・お手紙をもらった時のうれしい気持ちを想起する。 ・物語を読んで、「おもしろいな」と思ったところや心に残った言葉や文を発表する。	○			・お話を読むことに興味をもち、自分の心に残ったところを考えようとしている。	発言 行動観察 ワークシート
	2	○ゴールの見通しをもち、学習の計画を立てる。 ・がまくんやかえるくんの手紙を書きたいという思いをもち、どんな手紙だと嬉しいか、二人に喜んでもらえる手紙書くためには、二人の気持ちを読み取ることが必要であることを確認する。 ・ゴールの見通しをもち、学習の計画を立てる。	○			・登場人物に関心をもち、手紙を書くことに意欲をもち、単元で付けた力について考えようとしている。	発言 ワークシート
二	3	情報の収集・整理分析（８） ○「お手紙」の五つの場面を確かめる。 ・人物の行動や挿絵を手がかりに、場面の分け方を考える。 ・分けた場面を文章と対応させながら確かめる。		○		・登場人物の行動や挿絵を手がかりにして、場面をわけている。	行動観察 ワークシート
	4	○誰が、どんなことをしたお話か、場面ごとに整理する。 ・五つの場面の「時」「場所」「人物」と出来事の概要をとらえ、物語全体の流れをつかむ。			○	・文の中における主語と述語の関係について理解している。	行動観察 ワークシート
	5	○「なぜ二人ともかなしいのか」について話し合う。 ・会話文をもとに、がまくんとかえるくんの行動や様子を読み取る。 ・かえるくんまで悲しい気分になった理由を、話し合う。		○		・がまくんとかえるくんの行動や会話に着目して、ふたりが悲しい理由を考えている。	発言 行動観察 ワークシート
	6	○「なぜかえるくんは大急ぎで家に帰ったのか」について話し合う。 ・かえるくんの行動や様子から気持ちを想像し、理由を考える。		○		・かえるくんの行動や様子に着目し、大急ぎで家に帰った理由を考えている。	発言 行動観察 ワークシート
	7	○「かたつむりくんを待つかえるくんとお昼ねしているがまくんの気持ち」について話し合う。 ・がまくんとかえるくんの会話や行動を整理し、整理したことから手紙を待つかえるくんと諦めているがまくんの様子や気持ちを読み取る。		○		・がまくんとかえるくんの行動や会話に着目して、ふたりの気持ちを考えようとしている。	発言 行動観察 ワークシート

「ふたりはく」シリーズの並行読書

次	時	学習内容	評価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
二	8	<p>○「もう一度お手紙を待っているときの二人の気持ち」を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙を出したことを打ち明けたかえるくんの気持ちを話し合う。 ・がまくんの「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」という言葉に着目させ、がまくんの気持ちとそれを聞いたかえるくんの気持ちを想像させる。 <p>【本時】</p>			○	<ul style="list-style-type: none"> ・がまくんとかえるくんの行動や会話に着目し、ふたりがもう一度お手紙を待っているときの気持ちを考えている。 	発言 行動観察 ワークシート
	9	<p>○「第一場面と第四場面のふたりの気持ちの変化」について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がまくんもかえるくんも幸せな気持ちになっていることをおさえるために、第一場面のと第四場面の挿絵を見比べ、顔の表情に着目させる。 ・第一場面と第四場面を音読し、文章を比べて気持ちの変化が分かる言葉を見つける。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や会話文の言葉から、がまくんとかえるくんの気持ちの変化を読み取っている。 	発言 行動観察 ワークシート
	10	<p>○「手紙が届いたときのがまくんとかえるくんの気持ち」について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙が届いたときの二人の気持ちを想像する。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・がまくんとかえるくんの行動に着目し、ふたりの気持ちを想像している。 	発言 行動観察 ワークシート
三	11	<p>まとめ・創造・表現（１）</p> <p>○学習したことを振り返り、がまくんとかえるくんにお手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習で書いた、がまくんとかえるくんへの一言お手紙をもとに、ふたりに伝えたいことをお手紙に書く。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・想像を広げながら読み取ったことをもとに、手紙を書いている。 	行動観察 手紙
四	12	<p>振り返り（２）</p> <p>○書いた手紙を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙を読み合い、友だちの手紙の良さに気づき、感想を交流し合う。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの手紙の良さに気づき、感想を伝え合おうとしている。 	行動観察 発言
	13	<p>学びのモニタリング</p> <p>○自分の学びや学び方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や会話をもとに、想像を広げて読むことの楽しさに気付く。 ・想像を広げながら読み取った気持ちを基にして伝えたい言葉を考え、かえるくんやがまくんに手紙を書くことができたか振り返る。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・想像を広げながら読むことの楽しさに気づき、自らの学びや学び方を振り返ろうとしている。 	発言 行動観察 ワークシート

「ふたりはく」シリーズの並行読書

本時の学習

(1) 本時の目標

- 場面の様子について登場人物の行動や会話に着目して、がまくんとかえるくんの気持ちを読み取ることができる。

(2) 本時の評価規準

- 場面の様子について登場人物の行動や会話に注目して、がまくんとかえるくんの気持ちを読み取っている。 【読む能力】

(3) 本時の学習展開（8時間目／全13時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 （評価方法） ◎本時で付けたい力
1 前時の学習を振り返る。 ○3場面のがまくんとかえるくんはどんな気持ちでしたか。 2 4場面は、誰が何をする場面なのか確認する。 ・がまくんにお手紙が届くことがわかる場面です。 ・ふたりで手紙を待つ場面です。 3 本時の学習課題を確認する。 めあて	◇掲示物をもとに、手紙を諦めているがまくんと励ますかえるくんの気持ちを想起する。 ◇掲示で4場面を想起させ、二人でお手紙を待つ場面であることを確認する。	
もう一度お手紙が来るのをまっているときの二人の気持ちを考えよう。		
本時のゴールの見通し A：場面の様子について、登場人物の行動や会話に着目して場面と場面を関連付けて登場人物の思いについて想像を広げながら読んでいる。 B：場面の様子について、登場人物の行動や会話に着目して登場人物の思いについて想像を広げながら読んでいる。		
4 もう一度手紙を待っているときのふたりの気持ちを考える。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> □思考の場の工夫 関連付ける 行動や会話と気持ちを関連付けて考える。 </div> ○ふたりの気持ちがわかる文や言葉に線を引きましょう。 ○線を引いたところに、気持ちを書きましょう。 5 考えた気持ちを全体で話し合う。 ○考えたふたりの気持ちとそう思ったところを発表しましょう。	◇かえるくんは赤、がまくんは青で色分けをし、それぞれの気持ちがわかる文や言葉に線を引かせる。 ◇線を引いたところから分かる気持ちをそばに書かせる。 ◆挿絵の表情から想像させる。 ◇線を引いたところとそこから分かった気持ちを言わせる。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>がまくん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ああ とてもいいお手紙だ」のところから、初めてお手紙をもらってすごく嬉しい事がわかりました。 ・「きみがぼくの親友であることをうれしく思います。」のところから、『ぼくのことを親友と書いてくれて嬉しい』と思っています。 <p>かえるくん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がまくんの「とてもいいお手紙だ」という言葉を聞いて、がまくんが手紙をよるこんでくれてよかったと思っています。 ・「二人ともとても幸せな気持ちで」のところから、がまくんも幸せだから『手紙を書いてよかったなあ』と思っています。 <p>○お手紙のどこが嬉しかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親愛なる」「親友」というところだと思います。 <p>6 手紙を待つ二人の気持ちを交流する。</p> <p>○お手紙を待つふたりの気持ちを発表しましょう。</p> <p>7 4場面を読み取ったことからふたりに伝えたい一言お手紙を書く。</p> <p>○今日の学習を振り返って、がまくんとかえるくんに贈りたい一言手紙を書きましょう。</p>	<p>◇がまくんの「ああ」「とてもいいお手紙だ」という言葉に着目させ、どんな気持ちのときに言う言葉か考えさせる。</p> <p>◆自分ががまくんだったら手紙をもらったとき、どう思うか考えるよう助言する。</p> <p>◇「親愛なる」や「親友」の意味を押さえ、かえるくんのがまくんへの思いの深さを感じ取れるようにする。</p> <p>◇手紙を待つ二人の気持ちを想像し、全体で交流する。</p> <p>◇がまくんとかえるくんに伝えたい言葉を考えさせる。</p> <p>◆書きにくい児童には、これまでの一言を参考にするように助言する。</p>	<p>◎場面の様子について登場人物の行動や会話に注目して、がまくんとかえるくんの気持ちを読み取っている。〔読む能力〕(ワークシート・行動観察)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>がまくん</p> <p>ぼくにはじめてお手紙がとどくんだ。うれしいなあ。</p> <p>はやくとどかないかなあ。かえるくんのおかげでしあわせだなあ。</p> <p>かえるくん</p> <p>がまくんが安心してくれてよかった。</p> <p>お手紙を出してよかったよ。</p>		
<p>8 次時への課題を知る。</p>	<p>◇次時への見通しをもたせる。</p>	

(4) 板書計画

ふたりにとどけ ぼくらのおもい

めあて
もういちど お手紙が来るのを、まっているときのふたりの気持ちをかんがえよう。

A ふたりの気持ちをそうぞうする
B 十つなげる

がまくん
「きみが。」
びっくり

「お手紙になんて書いたの。」

「ぼくは、こう書いたんだ。」

だっ、ぼくがきみにお手紙出したんだもの。

かえるくん

親愛なるがまがえるくん
ぼくは きみが ぼくの しんゆうで あることをうれしく おもっています。

きみの しんゆう かえる

教科書の挿絵

がまくん
ぼくにはじめてお手紙がとどくんだ。うれしいなあ。かえるくんのおかけでしあわせになったよ。かえるくん
がまくんがあんしんしてくれてよかった。お手紙を出してよかったなあ。

親友だと思って
「ああ。」
「とてもいいお手紙だ。」

がまくんがしあわせな
気持ちになってくれて
うれしい。

まとめ

<参考> 「学びのモニタリング」

海田東小 学びのモニタリング
ふたりにとどけ ぼくらのおもい
「お手紙」

二年 くみ ()

① お話のじゆんじよやようすから、がまくんとかえるくんの気持ちをかんがえながら手紙を書くことができた。

とても まあまあ あまり まったく
4 3 2 1

② ふたりがしたことや話したことから、ばめんのようすや気持ちをかんがえながらお話を讀んだ。

とても まあまあ あまり まったく
4 3 2 1

③ 学しゆうをとおして、人ぶつの気持ちをかんがえながら読む楽しさに気づくことができた。

とても まあまあ あまり まったく
4 3 2 1

④ 学しゆうをしておもったこと、わかったこと、これからやってみたいことを書きましよう。